

野田 九条通信

2008年5月号

No.30

「野田・九条の会」事務局

Tel 7122-0502

野田九条の会ホームページ
http://www17.ocn.ne.jp/~art.9/

地域九条の会

発足に向け動き出す

4月20日(日)北部公民館に野田九条の会に賛同する市民53名が集まりました。話し合いに先立ち、千葉県九条の会事務局長の野口さんから全国の九条の会の運動など国民意識を変えてきており、今年4月の読売新聞の調査でも九条を守る人々が60%と増えてきているこ

と、一方改憲勢力も新憲法制定議員同盟(中曽根康弘会長)などが動きを強め、また映画「靖国」への干渉・妨害など最近の情勢についてお聞きしました。また、船橋での様々な地域九条の会の活動が紹介され、映画「二十四の瞳」を鑑賞したり、東京大空襲の被災地めぐりなど、活発に行

動していることなどを聞き、元気が出ました。その後、福田・南部地区、中央・東部地区、川間・北部地区、関宿地区に分かれて話し合った結果、それぞれの地区で

もう一度集まり話し合いを続けることが合意されて動き出しました。当日参加できなかった方もそれぞれの集まりにご参加ください。

平和のための戦争展 実行委員会が始動

今年も8月に中央公民館で開催しようとする実行委員会が発足、いろいろ知恵を絞っています。過去の戦争の悲惨さを伝え、現在を見つめ、未

来に向かつて何をしたら良いか考える集いとしては2回目となる今年、映画「靖国」の上映をめぐる動きやチラシ配布で有罪判決などの

九条への想い

二〇〇八年五月三日 憲法施行六十一年目の記念日を迎えました。名古屋高裁で争われていた憲法裁判は、原告団が上告しない事で昨日二日で結審、自衛隊のイラク派兵は『憲法九条一項に違反する』との判決が確定した事が新聞で大きく報道されました。戦後の憲法裁判で

イラク派兵は憲法九条違反

野田・九条の会賛同者 逆井富弥

は画期的な出来事です。国はこれを真摯に受けとめて違反状況を総点検すべきではありませんか。ありませぬ。この事は『九条の会』設立二〇〇四年から全国津々浦々七千以上の会が日々作られている事へのアセリとも見えますが、

またこれに対抗すべく自公民などは改憲議連を発足、地域毎に運動を進めようとしています。日本国憲法九条第一項により政府の行為によつて一人も殺され殺す事もなく今日に至っています。今こそ憲法を守り生かしていきましょう。

「九条への想い」への4000字程度の原稿をお待ちしています。

ご参加ください 野田九条の会 今月の活動

- ☆チラシ配布 5月19日(月)10時～
いなげや宝くじ売り場前集合 みずきの街配布
- ☆平和のための戦争展実行委員会 5月25日(日)10時～12時
中央公民館講座室

動きを通して考えてみようなどの意見も出ています。まだまだ実行委員や出展参加者が足りません。九条の会の賛同者の方も積極的にご参加ください。

「9条世界会議」に参加して「平和憲法」の価値再発見

会場の外にまであふれた参加者

5月4日、「9条世界会議」の会場となった幕張メッセには、開演までまだ1時間以上もあるというのに、人・人・人の列が会場入り口まで、くねくねと300ほあまりも連なっていました。満席となった会場にはのべ1万2千人が入場、司会者の発表によれば3千人が入場できず、外で海外ゲストとの集会が持たれたようです。これだけで、すでに「憲法9条」を守ろうとする参加者の意気込みがあふれていたのを実感しました。この人の波に恐れをなしたのか、押しかけてきた6～7台の右翼の街宣車も、心なし元気がないように感じました。

この9条世界会議は、翻訳化の池田香代子さんを始め、作家の井上ひさしさんや野田にも講演に来てくれた小森陽一さん、伊藤真さん、そして今年秋の講演会・講師に予定している石川文洋さんなど88人の方々が呼びかけ人となって、「武力によらず平和をつくる」憲法9条の考え方を世界の平和に活用することを提言するため行われたものです。

各国の代表が「9条は世界の希望」

世界会議の基調講演では、ノーベル平和賞受賞者のマイレッド・マグワイアさんが「日本の平和憲法は、世界中の人々に希望を与え続けてきた」と語り、「9条を放棄しようとする動きが日本にあることを憂慮する」と述べ憲法改正の動きを批判しました。日本代表の池田香代子さんは、「平和憲法は日本の市民が日々選び取り、61年間努力して維持し続けてきたもの」と強調し、イラク派兵を憲法9条違反と断じた名古屋高裁判決を原告の一人として法定で聞いた感動を述べ、「民主主義は戦争を否定して初めて本物になる」と訴えました。

トーク企画「イラク・アメリカ・日本」では、イラク戦争に反対して退役したアン・ライトさんが「9条は平和を守る防波堤」と訴え、雨宮処凛さんが貧困と戦争の関係にふれ「解決策は軍事費を削って生存の方に回すこと」と訴え、高遠菜穂子さんが人質の体験から「9条で命が守られた」と話し、それぞれ拍手に包まれました。

この他、コスタリカ・ガーナ・韓国・アメリカ・アルジェリアなど多くの外国代表が、「9条は世界平和を守るいしずえ」などとする訴えがなされ、「9条は世界の宝」を実感しました。

9条世界宣言では

最終日に採択された「戦争を廃絶するための9条世界宣言」では、「9条は単なる日本だけの法規ではない。それは国際平和メカニズムとして機能し、世界の平和を保つために他の国々にも取り入れることができるものである。9条世界会議は、戦争の廃絶をめざして、9条を人類の共有財産として支持する国際運動をつくりあげ、武力によらない平和を地球規模で呼びかける」として、すべての政府に対して13に渡る実行項目を掲げ、日本政府に対して3点の取組みを求めています。また私たち市民社会が取り組むべき9点にわたる誓約事項を挙げ、その最初の項目には、「9条の主要な原則の維持・拡大を地球規模で促進していくことに真剣に取り組む、平和の文化を普及していくこと」と書かれています。

私たち「野田・9条の会」の願いと同じだ、との喜びと確信を持って帰りました。